ニジェール情勢（報道とりまとめ）

（平成２８年７月）

主な出来事

【内政・治安】

●７月２９日，ニジェール政府はディッファ州の非常事態宣言を３か月延長することを決定した。

【外交・経済協力】

●７月２７日，ワシントンDCを訪問中のブリジ・ラフィニ首相は，世界銀行との間で７，０００万ドルの支援に関する合意に署名した。

●７月２９日，ワシントンDCを訪問中のブリジ・ラフィニ首相は，ミレニアム・チャレンジ・コーポレーション（MCC）本部にて，MCCのニジェールに対する４億３７０２万米ドルの支援に関する合意に署名した。

【経済・社会】

●７月９日，サバンナ・ペトロリアム社（英国）は，ニジェール南東部アガデムのR3/R4鉱区における石油探査のために４，０００万ドルの資金調達をしたと発表した。

**１．内政・治安**

●７月１２日，ハマ・アマドゥ元国民議会議長に近い野党ニジェール民主運動（MODEN）関係者７名が，騒乱罪で１２か月の懲役判決を受けたことを，弁護士が明らかにした。７名は昨年１１月１４日にアマドゥ元国民議会議長が退避先のフランスから帰国した際に，治安部隊が封鎖していた空港にMODEN支持者が入ろうとして両者が衝突した事件の責任を問われていた。（AFP）

●７月２９日，ニジェール政府はディッファ州の非常事態宣言を３か月延長することを決定した。（大統領府発表）

**２．外交・経済協力**

●７月９日，中国はニジェールに対してコメ５，５４７トン（約４４億CFAフラン（約８．８億円相当）の緊急食糧支援を行うことを表明した。（Xinhua）

●７月１１日，イスフ大統領はニアメで開催された協商会議（Conseil de l’Entente）の首脳会議において，現在チャド湖周辺で活動している多国籍合同軍に倣って，マリ北部におけるテロ対策のために西アフリカ諸国による多国籍合同軍を創設するよう提唱した。（AFP）

●７月２１日～２２日，エレン・ジョンソン・サーリーフ・リベリア大統領がニジェールを友好・実務訪問し，二国間協力や地域開発等について議論した。（Agence Nigerienne de Presse）

●７月２２日，イスフ大統領はニジェール訪問中のジル・バイデン米国副大統領夫人の表敬を受けた。（大統領府発表）

●７月２５日，カネ計画大臣とコーネリア独復興金融公庫（KfW）地域代表は，KfWがニジェール政府のリプロダクティブ・ヘルス分野の取り組みを強化するために２，７００万ユーロを支援する契約に署名した。（Le Sahel）

●７月２７日，ワシントンDCを訪問中のブリジ・ラフィニ首相は，世界銀行との間で７，０００万ドルの支援（６，０００万ドルの贈与と１，０００万ドルの融資）に関する合意に署名した。世銀の支援は，上水，都市衛生，制度・能力強化に当てられる予定。（Le Sahel）

●７月２９日，バズム内務・公安・地方分権・慣習・宗教大臣は，各国ドナーに対して世界食糧計画（WFP）が今年のニジェール国内の活動を継続するために支援を必要としている旨説明した。WFPによると２，１４０万ドルの追加的な資金が不足している。（Le Sahel，AFP）

●７月２９日，ワシントンDCを訪問中のブリジ・ラフィニ首相は，ミレニアム・チャレンジ・コーポレーション（MCC）本部にて，MCCの４億３７０２万米ドルの対ニジェール支援の合意に署名した。この支援は，灌漑整備，河川管理，イニシアティブ３Nの支援等に当てられる予定。（ONEP）

**３．経済・社会**

●７月５日，西アフリカ中央銀行（BCEAO）は，ニジェールの２０１４年の国際収支が１８１４億CFAフラン（約３６３億円）の黒字だったと発表した。（Agence Nigerienne de Presse）

●７月９日，サバンナ・ペトロリアム社（英国）は，ニジェール南東部アガデムのR3/R4鉱区における石油探査のために４，０００万ドルの資金調達をしたと発表した。（Agence Ecofin）

（了）